

目次

[令和5年度](#)

令和5年度

事件から28年過ぎても、毎年、年明けから5月の連休ころ迄、頭痛、倦怠感などの症状が続きます。何人もの方が亡くなり、私より後遺症が重い被害者がいらっしゃる中、私は仕事して生きていられる事に感謝しています。だからこそ、風化させてはいけない、語り継いでいかなければならないと思っております。

世界では、今でも戦争をしている国がある中、日本は物価高等、其々大変な事がありますが、平和と言っていると思います。地下鉄サリン事件は、そんな日本で起きた事件です。

日本は島国で、台風、地震、津波などの自然災害で多くの犠牲者をだしています。ですから、人間同士が傷つけると言う事件は起こして欲しくないです。

ITが進歩し、過去では考えられないような事件事故が起こっている現在ですが、日本においてサリンで亡くなった人、後遺症と闘いながら生きている人がいる事を、事件を知らない世代の人には知ってほしいと思います。

(令和5年10月30日記)